

令和7年度サーキュラー・エコノミーの実現に向けた社会実装化事業

実施報告書

2026年2月8日

一般社団法人テキスタイルサーキュラーネットワーク

1. 事業名

三鷹市における「繊維 to 繊維」の取組に係る実証実験

2. 実施主体

- 実施団体 一般社団法人テキスタイルサーキュラーネットワーク
(以下、TC-Net)
- 連携自治体 東京都三鷹市

3. 事業実施期間

2025年8月～2026年1月

4. 事業の目的

本事業は、三鷹市とTC-Netが連携し、使用済み繊維製品を原料として再生する「繊維 to 繊維」の実証実験を通じ、地域発の資源循環モデルの構築を目指すものである。

市民参加型の回収から再資源化・普及啓発までを一体的に実施し、焼却処分に依存しない循環型経済への転換を検証する。

本取組は、国の繊維産業サーキュラーエコノミー移行方針とも整合し、持続可能な循環経済の社会実装を目的としている。

5. 実施内容

■ 実施スケジュールの計画/実績

実施スケジュール計画/実績 項目	計画						実績															
	8前	8中	8後	9前	9中	9後	10前	10中	10後	11前	11中	11後	12前	12中	12後	1前	1中	1後	2前	2中	2後	
備品等発注																						
スタッフ事前打ち合わせ																						
プレスリリース作成・配信																						
備品等納品																						
ふじまつり当日																						
三鷹市内常設回収拠点のチラシ配布																						
三鷹市内常設回収拠点の回収実績確認																						
スタッフ反省会																						
実績報告書作成・報告																						

- 古着回収イベント(第13回ふじまつり)
 - 日時 2025年11月16日(日)
 - 会場 「第13回ふじまつり」会場内(屋外)
 - 対応スタッフ 3名(補助員1名を含む)
 - 内容
 1. 市民による家庭廃棄衣類の持ち込み回収
 2. アップサイクルコースター配布による参加者促進
 3. 三鷹市内常設回収BOXのPRチラシ配布による行動変容促進
- 三鷹市内常設回収拠点のチラシ配布による行動変容促進
 - 配布期間 2025年11月
 - 配布場所
 - ・ 三鷹市役所第二庁舎 ごみ対策課窓口
 - ・ リサイクル市民工房
 - ・ 消費者活動センター

6. 実績データ(定量)

■ 古着回収イベント

	実績値
持ち込み件数	88件
持ち込み重量	218kg

■チラシ配布実績

		ふじまつり当日	三鷹市役所第二庁舎 ごみ対策課窓口	リサイクル市民工房	消費者活動センター	
配布枚数 (手配枚数500枚)		260枚	110枚	70枚	60枚	
チ ラ 回 シ 回 配 実 布 績 前	2025年 8月度	-	740Kg			配布前 回収合計 1750Kg
	2025年 9月度	-	490Kg			
	2025年 10月度	-	520Kg			
チ ラ 回 シ 回 配 実 布 績 後	2025年 11月度	-	710Kg			配布後 回収合計 1800Kg
	2025年 12月度	-	410Kg			
	2026年 1月度	-	680Kg			
※毎月回収を実施			チラシ配布前後回収量比(%)			102%

参考)

他のケースでも同様だが、サービス開始当時は、利用者はタンス等の中にたまっていた衣料品を大量に持ち込む傾向があり、結果、持ち込み量が増える傾向にある。その後は、都度不要になったものが持ち込まれるため、持ち込み数量は落ちていく。

■ コースター(ノベルティ)手配枚数と配布枚数実績

手配枚数	300枚
配布枚数実績	143枚

7. 実施体制

組織	役割
三鷹市	広報支援・会場提供
TC-Net	企画統括・ブース運営・レポート作成
株式会社もっかいトラスト	回収・保管・出荷

8. 定性評価

■ 市民の関心

- イベント当日は、子ども連れの家庭や幅広い年代の参加が見られ、地域の衣料品リサイクルへの関心の高さが示された。古着回収ブースへの訪問が途切れることなく続き、回収重量が予想を上回る結果となった。
- 行動変容の可能性
常設回収ボックスの設置に加え、チラシ配布を通じて、市民の継続的な参加への動機づけを実施した。
今後も常設回収ボックスの回収量データを継続把握し、行動変容の成果を評価する予定である。

9. まとめ・今後の展望

- 本実証実験では、市民参加による古着回収の実行可能性と地域内での受容性を確認できた。今後は、常設回収ボックスへの持ち込みデータを継続的に分析し、三鷹市での循環モデル強化に向けた施策提言を進めていく。
- また、衣料品を持ち込まれた市民の方からは、ボックスに投入した衣料品が、どのような処理（回収、選別後、リユース、またはリサイクル処理）がされ、どのようなものになるか（水平リサイクル・リユース商品（衣料品）、ウエス、反毛材等）知りたい、という声が多かった。この点については、今後、三鷹市、繊維 to 繊維のパートナーである帝人フロンティアとも連携を図りながら、実現に向け進めていきたい。

添付資料

- 写真：イベントでの古着回収ブース



回収ボックス



のぼり



ブース風景



コースター配布



コースター



回収された衣料品

● 写真:常設回収 BOX



三鷹市役所第二庁舎
ごみ対策課窓口



リサイクル工房



消費者活動センター

● チラシデータ



- プレスリリース (PR TIMES より)

三鷹市で“繊維 to 繊維”の実証実験を開始。

市民参加型の古着回収を「ふじみまつり」で実施

2025年11月21日 08時12分

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000145314.html>

三鷹市で“繊維to繊維”の実証実験を開始。

市民参加型の古着回収を「ふじみまつり」で実施

TC-Net 2025年11月21日 08時12分

一般社団法人テキスタイルサーキュラーネットワーク（所在地：大阪府泉大津市、代表理事：臼谷喜世彦、以下 TC-Net）は、東京都三鷹市と連携し、2025年7月より、使用済み衣料品を原料として繊維へ戻す“繊維to繊維”リサイクルの実証実験を開始しました。その取組の一環として、2025年11月16日（日）開催「第13回ふじみまつり」にて、市民参加型のワンデー古着回収を初実施。家庭から持参された衣類が次々と集まり、多くの市民が参加しました。

イベント当日の様子

▼ 古着回収ブース

